

# BE THE PLAYER

自分で考え  
動く 生み出す  
そして世界を変える



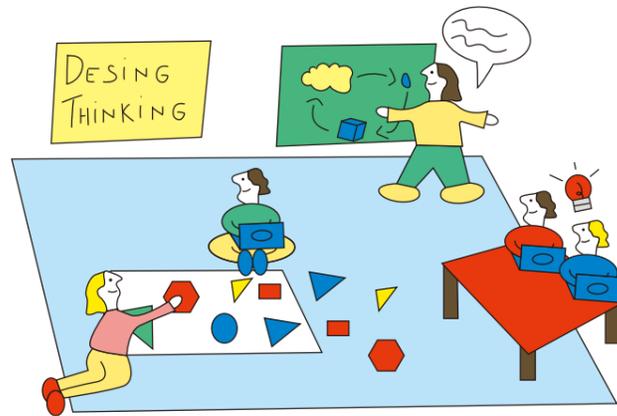
# ● 自律した学び手を育てる

生涯にわたって自ら学び、成長し続ける学び手を育みます

## Project 1

### 「自分で考え 動く 生み出す」学校づくり

子どもが主役の授業づくり、「デザイン」の思考法も取り入れた更に創造的な学校づくりに取り組みます。



## Project 3

### 部活動の在り方改革

「マルチスポーツ」の考え方を基軸に、平日の部活動のグランドデザインを描き、子ども主体の学びの場を広げます。「放課後共創基金」により、部活動・地域クラブの運営基盤を強化します。

# ● 地域・保護者と一緒に

学校、家庭、地域「みんな」で同じ方向を目指します

## Project 6

### 地域・保護者との協働と支援

「コミュニティ・スクール」の更なる活性化や、各プロジェクトの進捗等に関する地域・保護者との意見交換の機会の増加などに取り組みます。学校の配置及び施設の在り方の検討も進めます。



## Project 2

### STEAM Education 2.0

STEAM の学びを、「地域」も1つの軸として更に充実させ、子どもたちのワクワクと課題発見・解決力を育みます。



※「自律した学び手」の力は、主体性、自己決定・自己調整力、協働する力、自分の思考プロセスを客観視する「メタ認知力」等、個別の教科の知識・技能を身に付けて、生涯にわたって成長し続けるための礎となる力 ※「STEAM」は Science, Technology, Engineering, liberal Arts, Mathematics の頭文字を取ったものであり、STEAM Education は「問」の連続と課題解決による文理融合・教科横断的な学びの総称（プログラミング教育等のみを指すものではない） ※「放課後共創基金」は、民間企業からの拠出金の運用益等を複数の自治体において活用し、放課後の学びの充実を図る一般社団法人 ※「コミュニティ・スクール」(学校運営協議会制度)は、学校と地域が目標等を共有し、子どものために連携・協働するための仕組み

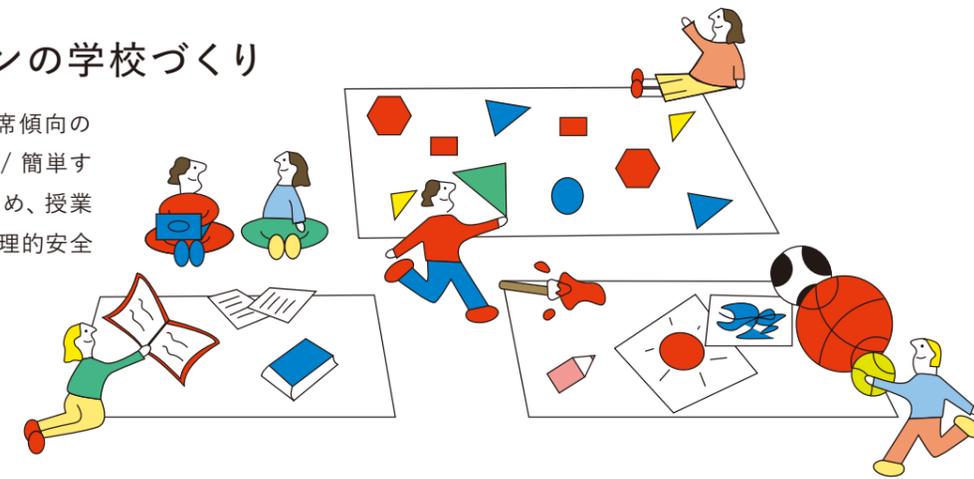
# ● 誰一人取り残さない

「それぞれのペースで、でもみんなで取り組める」活動をもっと増やします  
より多くの子どもに、よりきめ細かな支援を、より早く届けます

## Project 4

### ユニバーサルデザインの学校づくり

発達上の支援を要する子どもや欠席傾向の子ども、一斉型の授業が難しすぎる / 簡単すぎる子どもなど一人一人の学びのため、授業等における手立ての充実、学校の心理的安全性の向上などに取り組みます。



## Project 5

### 「不登校」と向き合う

欠席傾向の子どもを「無理に教室の中に戻す」のではなく、学校内外の学び場・居場所を引き続き充実させていきます。福祉部局等と教育委員会の連携を一層強化しつつ、一人一人の子ども・保護者の心や環境に寄り添って対応します。

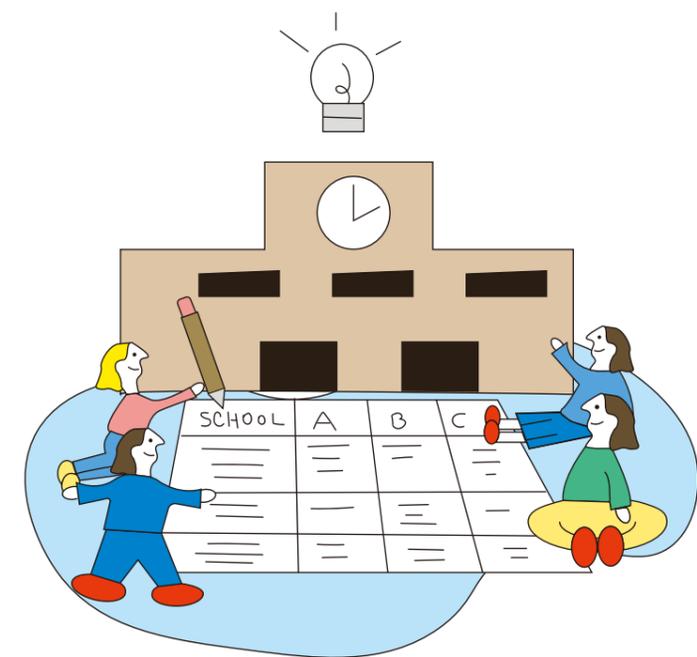
# ● 先生も幸せに

子どもの「今」も「未来」も幸せにする、そんな教育に向き合う幸せ。そして家族や自分限りの大切な時間を過ごす幸せ。両方がのびのびと追求できて子どもにもいい影響がある、学校をそんな職場にしていきたい

## Project 7

### 業務量管理・健康確保措置実施計画の実行

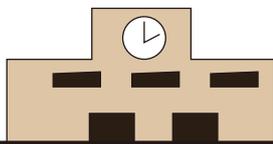
「業務量管理・健康確保措置実施計画」を着実に実行し、業務改善、学校組織の心理的安全性の向上などを進めます。



※ Project5 の具体的な取組については、「加賀市不登校支援プラン」の更新において提示 ※ 2025 年改正の「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」(給特法)に基づく ※「業務量管理・健康確保措置実施計画」は、2025 年改正の「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」(給特法)に基づく計画。計画を踏まえた各学校の業務改善等の方針は、コミュニティ・スクールにおける承認事項

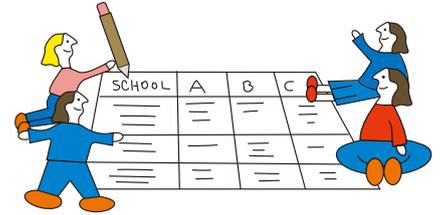
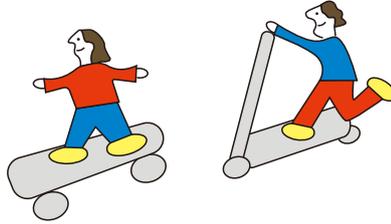
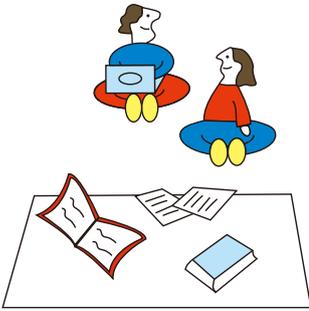
加賀市教育委員会  
〒922-8622  
石川県加賀市大聖寺南町二41番地  
TEL:0761-72-1111(代表)





## 目指す姿

自分自身の「好き」「全力」「やってみよう」を感じる瞬間を通じて、生涯にわたって自ら学べる人材を育成します。その過程で、異なる価値観や伝統の理解などの協働・社会参画の基礎を築くとともに、各教科の学びを深めていきます。これらを支えるため、氾濫する情報に流されないためのスキル・モラル・リテラシーを育みます。



## なぜ、こうした姿を目指すのか？

### 視点



### 世の中で生きる力が変わっている

「学校で学び、就職して働く」「いい大学からいい仕事へ」といった人生モデルは崩れつつあります。これからは、生涯学び続け、自分の幸せを自らデザインしていく主体性が求められています。いま社会では、「正解探し」よりも、「独創性」や「革新性」が重視されるようになっていますが、その源泉は、自分の「好き」「全力」「やってみよう」から生まれる「ここにしかない学び」にあります。

### 視点



### 社会構造が変わっている

少子高齢化は「大人も子どもも減る時代」へと進み、「一斉に同じことを行い、選抜する」仕組みをはじめ人口増加期と同じやり方は成り立たなくなっています。一人一人の個性を生かす教育、新しい発想・挑戦、そして、避けられない不利益を民主的に分かち合う力が求められています。

### 視点



### 技術が進歩している

テクノロジーの進化により生み出せる価値がますます拡大しています。同時に、正確な情報を見極め、事実と意見を区別し、文字の向こうの他者を想像する力を意識的に育てなければ、思考を深め、協働することが難しい時代になっています。

### 視点



### それでも、大切なことは変わらない！

自分の考えを持ち、行動に責任を持つ。他者と協働して社会を担い、豊かな人生を送る。これらの重要性は普遍的です。また、子どもの個性・多様性を踏まえた「主体的な学び」「興味関心に応じた学び」は、長年追求されてきた教育の理想であり、加賀市教育委員会は、その実現に挑戦しています。